



MILLENNIUM  
PRIZE  
FOUNDATION

Lehdistötiedote 4.9.2006

中村修二教授、9月8日にヘルシンキにおいてミレニウム技術賞を受賞

2006年度ミレニウム技術賞は、9月8日ヘルシンキにおいて日本人の中村修二教授に授与される。授賞式では100万ユーロの賞金証書および技術賞記念品「Huippu」が、フィンランド大統領タリヤ・ハロネンより授与される。

中村修二教授の革命的な発光デバイスの発明に与えられるミレニウム技術賞は、世界でも最大総額の賞金100万ユーロの技術賞であり、フィンランドの独立したミレニウム技術賞財団より授与されるものである。中村教授の発明を称える授賞式は、9月8日にヘルシンキ・フェアセンターにおいてE C O F I N会議に合わせて行われる。

ミレニウム技術賞は、人々の暮らしの質の向上と持続的な繁栄に有益な影響をもたらした技術革新に対して与えられるものである。中村教授の最新の発光デバイスの発明は、この技術賞にふさわしい画期的な技術革新である。すでにそのテクノロジー技術は、全世界のエネルギー消費量の減少化、環境に優しくかつ効果的な照明設備の未開発地への普及、より一層効率的で経済的な飲料水の浄化プロセス、情報データの保存管理量の拡大化等の様々な分野で応用されている。

#### 【その他の詳細情報】

ミレニウム技術賞財団

事務局長

タピオ・アルヴェサロ博士

携帯電話: +358 400 341 497

[tapio.alvesalo@millenniumprize.fi](mailto:tapio.alvesalo@millenniumprize.fi)

情報部長

タニヤ・イコネン

携帯電話: +358 40 701 5757

[tanja.ikonen@millenniumprize.fi](mailto:tanja.ikonen@millenniumprize.fi)

[www.millenniumprize.fi](http://www.millenniumprize.fi)



MILLENNIUM  
PRIZE  
FOUNDATION